

6 ちょっとした症状が気になります。

健康なあなたも、風邪をひいたり、下痢をしたりする様に、HIVに感染した後も、同じように体調を崩すことがあります。しかし、HIVに感染したことがわかった後は変化があるたびに、これはHIVと何か関係のある症状なのだろうか、ひょっとして発病の兆しでは?などと考えたりします。

原因はHIVに関係のあるものも、ないものもあります。ちょっとした変化のたびに、学校や仕事を休んで病院にかかることは難しい場合もあります。先に述べたように、家族や学校、職場にHIV感染のことを告げていない場合はなおさらです。

HIV感染症・AIDSは、治療法の進歩によって生命が奪われることは少なくなりましたが、いまだに完全に治すことはできません。したがって、この冊子で述べている生活の変化や苦労は長い間続きます。

治療が順調な間は、良い状態を維持することができますが、それが数十年維持できるという保証はまだありません。

HIVに感染した方々は、予測がつかない、不確かさや曖昧さを抱えた人生を歩んでいます。そして、感染したことによる様々な制限や不安とうまく折り合いをつけるために、目立たないところで相当の時間やエネルギーを費やしています。HIVとつきあっていくことは決して楽ではありません。

「生きてはいける」が「生きづらさを抱えた」病気、それがHIV感染症なのです。

あなたのセックスは性感染症予防と
両立できていますか？

あなたの考える性感染症予防に、
間違いはありませんか？

自分が安全だと考える線引きを
変更する必要はありませんか？

この検査をきっかけに、
もう一度振り返ってみてください。



それでも、コンドームなしの方がいいですか？

企画・制作・著作：オフィスグレイス

監修：伊賀陽子（兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター）

市橋恵子（オフィスグレイス・看護師）

古谷野淳子（松浜病院 カウンセラー）

日笠聡（兵庫医科大学 血液内科）

山元泰之（東京医科大学 臨床検査医学科） ※五十音順

発行：アボット ジャパン株式会社

資料請求に関する問い合わせ先：

〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目 2-53

大阪東京海上日動ビル15階 アボット ジャパン株式会社

マーケティング本部 HIV感染症担当

Tel:06-6942-8697 Fax:06-6942-8775

発行日：2006年11月 無断転載・複製を禁ず

HIVに感染すること

～検査でHIV抗体陰性を告げられたあなたへ～



あなたは今、自分がHIV抗体陰性であることを知りました。「感染しているかもしれない」という不安から解放され、安堵されていることと思います。

しかしそれは、本当にあなたが正しい感染予防をした結果なのでしょうか。それともたまたま運が良かったからでしょうか？

私たちはHIV医療を通じて感染した方々が直面する現実の問題にかかわってきました。その経験から私たちは、「HIV抗体検査陰性」という状態をぜひともあなたに維持してほしいのです。

この冊子には、HIVに感染したら、生活の、何がどう変わり、どんな困難があるかのほんの一部分が書かれています。

「HIV抗体検査陽性」であった場合に起こる様々な体験を知ることは、これから先、あなたやあなたの周りの人が自分の健康を守っていかうするとき役に立つ情報となるでしょう。

…………… はじめに ……………

ヒト免疫不全ウイルス(HIV)は感染すると、AIDSという状態となり、死に至る可能性があります。

しかし適切な治療を受ければ、AIDS発病を抑えることも、AIDSから回復することも可能になりました(すぐに死ぬなんて事はありません)。

また、感染したからといって、昨日まで普通にできていた生活が、突然できなくなるわけでもありません。

多くの感染者は明るく元気に過ごしています。

でもそれは、「昨日までと何一つ変わらない暮らしが続けられる」ということとは違います。

感染した人たちは笑顔をとりもどすまでに、さまざまなハードルを乗り越えてきています。

HIVに感染したら・・・

① 通院のために、学校や仕事を定期的に休まなければならないかもしれません。

エイズ診療を行っているエイズ診療拠点病院の多くは、外来診察を平日の日中に行っています。ですから、HIVに感染した方の多くは、月曜日～金曜日のいずれかの日中に病院へ通うこととなります。

また、医療費助成(後述)などの制度申請をする役所の窓口も土日・祝日はお休みです。

平日に学校や仕事がある人は、休みをとらなければなりません。

② 薬を飲まなければ発病してしまう・発病しているのに薬を始めましょう、と勧められることがあります。

この病気は症状がない時期から薬を飲んでいれば、発病を防ぐことができます。しかしこの薬は、規則正しく、忘れずに飲まないと、効き目が悪くなってしまいます。さらにこれらの薬の中には、飲みにくく副作用の多い薬もあります。

症状がないのに、長い期間、薬を飲み続けることは、飲みやすい薬であってもかなり難しいことです。

でも飲み続けなければ、いつかは体調を崩して、回復不能な状態になってしまう可能性があるのです。

③ セックスパートナーにHIV感染の事実を告げることを勧められます。

HIVに感染していることがわかったら、コンドームを使っていないセックスをした相手に対して検査を受けるように伝える責任があります。もし、相手も感染していたら一日も早く医療機関を受診してもらい、相手の治療開始のチャンスを奪わないようにするためです。特定できないこともあるでしょうが、特定可能な相手には伝えることが勧められます。

感染の事実を告げることによって、相手との関係に様々な影響が出るかも知れない、うまく伝えられない、と迷うかもしれませんが、いつかはあなたが自分で伝えなければ心にしこりを残すでしょう。

あたらしい恋人ができたときにも、その度ごとにHIV感染を伝えるかどうか悩みます。その困難さから、誰かを好きになったり、その気持ちを伝えることにも不安やためらいを感じてしまう、という人もいます。感染していることを相手に告げずに、感染させてしまった場合には、罪に問われる可能性もあります。

④ 家族や友人、学校、職場の人々にHIV感染の事実を告げるかどうか迷います。

HIVに感染していることを周囲の人々に告げるのは容易ではありませんし簡単に決められることではありません。相手の気持ちに負担をかけたくないから、信頼できる人にも告げないことを選ぶ人も少なくありません。

同居している人や、職場や学校の人々に感染を告げないことを選んだ場合、病院の診察券やお薬をどこか人の目に触れないところへ隠さなければなりません。薬も隠れて飲まなければなりません。体調が悪くなくても、詳しいことを説明できません。

自分自身の状況を周囲に説明できないことは大変もどかしいものです。あの人に告げたらどうなるだろうか、と悩ましい日々が続くかもしれません。

⑤ 医療費がかかります。

病院で診察を受けたり、薬をもらったりすれば、それに対してお金を払わなければなりません。

この病気に対しては、医療費の助成制度がありますが、それを利用するためには、さまざまな役所にサービスの申請をし、それを自分で管理していかなければなりません。

これらの助成制度を利用して、あなたが支払う医療費が減ったとしても、HIV感染症の治療費自体が高額であることには変わりありません。

これらの費用は、健康保険や税金でまかなわれていますが、感染者が増えれば、いずれ自分で支払うお金が増えていくことになるかも知れません。